

お客様各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 2026年6月1日(月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	血中遊離メタネフリン
検査コード	0962
JLAC10	4E041-0000-022-021-00
TFAコード	16300000
検体量	血漿 1.0mL
保存・容器	必凍・E1→A2
実施料(判断区分)	585点(生化Ⅱ)
所要日数	5～13日
検査方法	EIA法
基準値	褐色細胞腫のカットオフ値：メタネフリン : 130.0pg/mL 以下 ノルメタネフリン : 506.0pg/mL 以下
実施施設	熊本以外：ビー・エム・エル / 熊本：QCL 福岡

保険収載名称：遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画

保険注釈：ア 褐色細胞腫の鑑別診断を行った場合に1回に限り算定する。本検査を実施するに当たっては、関連学会が定める指針を遵守し、褐色細胞腫を疑う医学的な理由を診療録に記載すること。

イ メタネフリン、メタネフリン・ノルメタネフリン分画、ノルメタネフリン又は遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

《注意》

- 測定値が上昇するおそれがあるため、仰臥位(ぎょうがい)にて20分間安静にした後に採血してください。
- 著しい溶血や乳びが認められる検体は不可です。(特に溶血血漿は低値となる可能性があります。)
- COMTによるドーパミン代謝物である3-methoxytyramineが著しく高値の場合、褐色細胞腫以外のドーパミン産生腫瘍の疾患では稀に偽陽性となる場合がありますのでご注意ください。
- セロトニン、ノルアドレナリン再取込み阻害剤、三環系抗うつ剤、MAO阻害剤L-DOPA、交感神経刺激剤等の薬物投与を受けた後の検体では、測定値に影響を与える場合がありますのでご注意ください。